

## 学校教育基本方針

京都市立上高野小学校

令和4年度 学校教育の重点より—京都市の目指す子ども像—

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

1. 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
2. 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となること  
ができる

### 学校教育目標 「思いやりにあふれ、自ら考え行動する子の育成」

『目ざす子ども像』	『目ざす教職員像』
<ul style="list-style-type: none"><li>・自他を大切にできる子</li><li>・自ら考え行動することができる子</li><li>・自らを律することができる子</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・常に人権を意識した教職員</li><li>・子どもの背景を意識できる教職員</li><li>・自らの意識改革を行える教職員</li></ul>
<b>『目ざす学校像』</b>	
～子どもも大人（教職員）もが『明日も来たいな、と思える学校』に～	
<ul style="list-style-type: none"><li>・一人ひとりが認められ、安心してすごせる学校</li><li>・自分の力を發揮でき、達成感がもてる学校</li><li>・共に高まり合える集団の中で、自らの成長を実感できる学校</li></ul>	

【自らの働き方や資質・指導力の向上に向けた意識改革を】

『自分のものさしではかるのではなく、自分のものさしをはかる』

## 学校経営方針

### 【指導の重点】自己指導力を高める

「自己決定力」「自己存在感」「共感的な人間関係」の醸成を通して

「確かな学力」(めあてと評価を明確にした学習指導の充実)・・・教材研究！

- ・学びのめあてを明確にし、つけたい資質・能力を意識した授業の構築
- ・「見方・考え方」を働かせる授業の創造
- ・自己決定の経験を積み、自己存在感の高揚を図る
- ・指導と評価の一体化、説明責任を果たせる評価
- ・子どもたちの将来展望を見つめ、一人一人に届く授業の創造を

「豊かな心」(学校生活を通してつける心の力)・・・児童理解！

- ・人権を尊重する態度の日常化
- ・一人ひとりを徹底的に大事にする姿勢
- ・子どもたちの実態を的確に把握し、個に応じた関わりを
- ・いじめを許さない、共感的な人間関係の構築
- ・個々の児童が「居場所」(自己存在感)を感じることができる学級経営
- ・公共心・公徳心、自己指導力の向上
- ・児童・保護者との信頼関係構築

「健やかな体」(健康と安全を意識して過ごす力)・・・学校は安心・安全な場！

- ・子どもの命を守りきる
- ・健康の保持・増進
- ・自律的な生活意識の向上
- ・自分の命自分で守る意識の向上

「地域との連携・協同」～上高野で学ぶアドバンテージ～

- ・地域の文化・伝統を活用した教育（教職員自らが地域に学ぶ）
- ・地域の一員としての自覚や所属感を持つ活動